



WEEKLY BULLETIN

2025年1月23日(3525例会)(創立74周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3439

■呉 RC 2024~2025 年度テーマ 「時代と共に、未来へ進もう=DX・見える化に取り組もう=」

会長 長行 事義人
副会長 石田 直樹
直前会長 大上 功
幹事会 計佐藤政秀
幹事会 勝坂省吾
会長エレクト 山村 貞夫
会場監督 太刀掛祐之

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12
呉商工会議所ビル南館7階 705号室
☎ (0823) 24-4411 FAX(0823) 21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

1月 23 日 (木)

職業奉仕委員会担当例会
「中国における日本メディア 他」
外部講師 NHK 松山局 デスク 伊賀 亮人 様

次週のメインプログラム

1月 30 日 (木)

出席・プログラム委員会担当例会
 会場: 広島電鉄(株)本社 12:30~14:30
 外部講師 広島電鉄 株式会社
 代表取締役社長 仮井 康裕 様



Facebook Home page

第 3524 例会記録 【1月 9 日(木)】

【プログラム】年男・年女卓話1

青山 宏明 君・神垣 和典 君・神田 健治 君

【出席率】前々回 87.32% 今回 85.92% (会員74名・欠席10名・免除3名)

【他クラブ出席者】◇八木君 (1/7 広島安芸) 勝坂君 (1/10 北海道 2500 ロータリー E クラブ) 福田・大之木 (小)・
谷口 (彰) 君 (1/9 3 クラブ合同新年夜間例会) 5名

【欠席者】◇稻葉・奥原・勝坂・菅原・武田 (信)・平原・増岡・道原・三宅・八木君 10名

【出席免除者】◇大矢・海生 (孝)・武田 (保) 君 3名

【幹事報告】◇RI…ロータリーレート 1 \$ = 157円へ変更 (回覧)

◇RI日本事務局財団室…財団室ニュース 1月号 (回覧)

◇RI第2710地区事務局…職業奉仕月間 リソースのご案内 (回覧)

◇RI第2710地区事務局 上田ガバナー…ガバナー月信1号 (配付・配信)

◇カルガリー国際大会推進チームメンバー兼推進コーディネーター服部陽子様…カルガリー ハット 販売のご案内 (回覧)

◇東広島ロータリークラブ…例会変更・休会のお知らせ。1/7(火)の例会を3RC合同夜間例会のため、1/9(木)18:30~西条HAKUWAホテルへ変更。サインメイク受付有り。1/14(火)イルミネーション撤去の為、東広島芸術文化ホールくららへ会場変更。サインメイク受付有り。

◇江田島ロータリークラブ…例会日変更・取消のお知らせ。1/2(木)1/16(木)定款第7条第1節 (d)により取消。1/23(木)オープン例会 (職場例会) の為江田島荘へ会場変更 (回覧)

【委員会報告】◇出席・プログラム委員会 中野 誠吾 委員長…12月出席報告 89.79% (7~12月暫定平均出席率 89.95%)

◇佐藤 裕宣 君…ロータリーの友1月号のご紹介

【S.A.A】◇藤井 聖 君…忘年家族例会に大変多くのご出席、心よりお礼申し上げます。そして親睦活動委員会の皆様、準備から運営、デュエット司会、重ねてお礼申し上げます。

◇武田 明代 君…入会して四ヶ月経ちました。今世紀最初の四半世紀。次の四半世紀、25年後には父の歳に追いつきます。諸兄に倣って善を積んでゆければと思っています。

◇神垣 和典 君…週報の原稿を書け、ニコニコもしなきゃいけない、挙句の果ては年男卓話で10分しゃべれ!『72歳年男 何もめでたくなんかない』

◇大村 一郎 君…年賀状も印刷のまま残ってしまい、お返しの年賀を書く気力も出ず、年を重ねる無力さを感じます。お年賀をいただいた皆様へのお詫びをこめてニコニコでのお返しとさせていただきます。

◇山路 恵司 君…訳あって暫くスローペースですが…徐々にスピードアップして参ります。本年もご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願ひいたします。

◇青山 宏明 君…本日1/9は母の98歳の誕生日なのでニコニコさせていただきます。

◇太刀掛 祐之 君…穏やかなお正月でした。今年が良い年となりますように。

◇事業所設立記念; 稲葉 周三 君・伊藤 博之 君・佐藤 裕宣 君・中河原 圭司 君・高橋 征司 君

◎ニコニコ基金金額 112,000円 (累計金額 1,010,000円)

私の仕事と職業奉仕



職業奉仕委員会 菅波 好人

私が経営している菅波物産は明治35年（1902年）に私の曾祖父である菅波常治郎により菅波商店として創業されました。明治35年といえばまさに呉市が誕生した年にあたりますが、2年後に日露開戦をひかえて日英同盟が締結された年でもあり、司馬遼太郎の代表作「坂の上の雲」で描かれた時代と重なります。同作品で描かれた、青い天に輝く一朶の白い雲のみを見つめて坂を登ってゆく楽天的な主人公たちと同様、ロシアの南下政策という国家存亡の危機に際して、呉に設置されて間もない海軍工廠の御用商人として軍艦の部材や船具、工場の設備や資材などを日夜供給し、近代國家の建設を支えてきました。やがて呉が「東洋一の軍港」とよばれる時代をむかえます。

サンフランシスコ条約が調印されて日本が形式上独立国に復帰した昭和26年（1951年）には、菅波船具金物店を設立して事業を再開し、造船業をはじめとする製造業や建設業、港湾物流業など、民間企業への販路を拡大。昭和43年（1968年）に菅波物産へ社名変更して現在に至ります。創業から123年になりますが、その間貫いてきた企業理念が、目先の利益や自社だけの利益に左右されることなく、当社に関わる全ての取引先の皆さまのお役に立ち、末永く社会に貢献することを使命とする「商人魂」です。そしてこの基本理念の下、123年間の商いを通じて培ってきた当社の強み、いわゆるコア・コンピタンスが、皮膚感覚で考える現場力であり、全産業を俯瞰する総合力であり、未来を切り拓く実行力であるといえます。

（参照：企業理念 | 菅波物産株式会社）

軍需産業を出発点とするものづくりの町として発展してきた呉ですが、近年、大企業の閉鎖や撤退が相次ぎ、産業の空洞化が進んでいます。この空洞化の流れに歯止めをかけ、このまちで蓄積してきた技術力を活かした新しいビジネスモデルを構築することが現在の当社に課せられた責務であり、本業を通じた社会貢献、すなわち職業奉仕であると考えています。そして最も尊い職業奉仕は事業の永続にあるともいえます。後継者難を理由に自主廃業やM&Aを受け入れる企業が増えていますが、本業をあるべきかたちで次世代へ引き継ぐことを義務と考え、受け継ぐ者もこれを権利ではなく義務ととらえることが大切です。

かつての日本人はあらゆる自然に神が宿るとする世界でも稀にみる高度な文明を持ち、どう考え、どう行動すれば公のためになるかを追求する武士道精神、売り手、買い手、世間によしを目指す三方よしの理念などを成熟させてきました。ところが戦後、GHQが実行したウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム、歪んだ歴史教育や偏ったメディアの報道などにより、多くの日本人が義務を棚に上げて権利ばかりを主張するようになりました。最近では生産性を度外視した働き方改革やパワハラ、カスハラといった流行語まで横行して人材育成が阻まれ、坂を降っていくように日本人の力が墮ちているようにも感じます。職業奉仕であるかどうかは事業内容もさることながら、それぞれの職業を権利であるとしてふるまうのではなく、義務と認識して目の前の仕事に取り組んでいるかどうかによるものではないでしょうか。